

全ての盲人に福音を！ キリスト教良書を！

2011年11月

ホ・ロガス 47号



再び立ち上がって

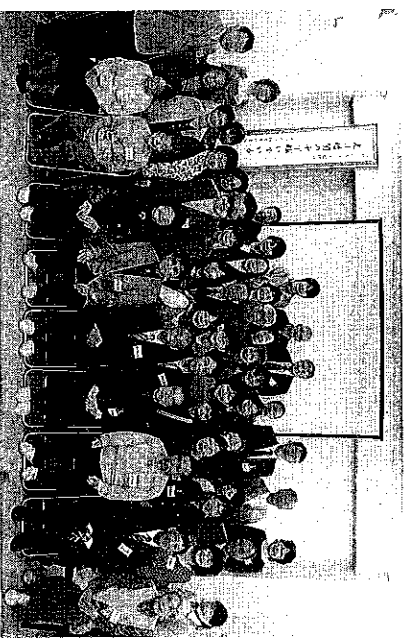
理事長 青山昭一郎

今年、3月の東日本大震災、9月の台風12号、15号による河川の氾濫、土砂崩壊等という大きな災害にみまわれました。いずれも多くの方々が被災され、そのために必死に復旧のために努めておられます。心からお見舞い申し上げます。

ルカによる福音書5章27、28節に「レビという徴税人が収税所に座っているのを見て、『わたしに従いなさい』と言われた。彼は何もかも捨てて立ち上がり、イエスに従った。」とあります。

「立つ」とは、古いものから自分を断ち切ることです。わざわざ「立ち上がり、イエスに従った」と書かなくても、イエスに従ったとだけでよい訳ですが、「立つ」という言葉を使っているのは、イエスから「私に従いなさい」と言われても、「ついて行きたいが、だめです」と座り込んでしまいうからです。

今、疲れていても、弱って倒れそうになっても、私たちを愛し、十字架について下さった主の愛と恵みを思い出し、再び立ち上がって目標に向かって走り続けたいと思います。



盲人伝道センターの感謝会が 祝福のうちに開催されました

静岡キリスト教盲人伝道センターは、11月3日、多くの関係者を招いて感謝会を開催しました。

感謝会は午前11時に開会、遠山信和牧師による礼拝の後、センター理事長・青山昭一郎の挨拶、病床にあり出席できないセンター創設者・青山輝徳名誉理事長のビデオによるお話があり、当センターの発足からの経過を懐かしく振り返りました。

昼食の後の交わりの会では、奉仕者、利用者、旧職員、関係する教会の代表など親しく語り合い、来年の感謝会を期して祝福の内に閉会しました。

ὁ λόγος

ホ・ロガスとは？

ギリシア語で「言葉」と言う意味。英語に言い換えると、“The Word”。このタイトルは、静岡盲人伝道センター広報誌第2号(1989・11月発行)から使われた。この「言葉」は、ヨハネによる福音書の「初めに言(ことば)があった。言は神と共にあった。」から引用された。

維持会員を募集！

当センター事業の維持・継続のために、皆様のご参加を募っています。

維持会員への加入は、1ヵ月1口100円から受け付けます。詳しくはセンターへお問い合わせください。

静岡キリスト教盲人伝道センター広報誌『ホ・ロガス』第47号 2011年11月発行
発行人：青山昭一郎 印刷所：中川プリンツ
発行：静岡キリスト教盲人伝道センター
〒422-8041 静岡市駿河区中田一丁目5-21
TEL 054-285-0496 FAX 054-285-0746 振替 00870-2-7003
Eメール：shizumouden@mail.wbs.ne.jp
http://www.dct7.net/
開館時間：祝日等を除く月曜日から金曜日、午前9時～午後5時

パソコンではこんな働きをしています！

静岡キリスト教盲人伝道センターには、付属点字図書館があります。視覚に障害をお持ちの方、または活字図書を読むことのできない方に、郵送での貸し出しを行っています。当館には、キリスト教関係の書籍が、録音されたり、点訳されたりして、約3,000種類も揃っています。どうぞ、ご利用ください。また、これらの図書は多くのボランティアの皆さんの奉仕によって点訳・音訳されています。

読みたい本が読めません！

キリスト教のテラ雑誌で読書紹介された本、でも視力に障害を持つ私は、読むことができません。



全国の点字図書館がオンラインで結ばれています。職員が検索しますから、とにかく問い合わせてください。どこにもないときは、リクエストしてくださいね。キリスト教関係の図書でしたら、盲伝センターでさっそく制作に取りかかります。

礼拝の説教テープが借りられますか？

わたしは、最近体の具合が悪く、なかなか日曜礼拝に出席できません。礼拝の説教テープを借りることができませんか？



もちろんお貸ししていますよ。日本キリスト改革派静岡教会（遠山信和牧師）の日曜礼拝テープは、いつでもお貸しできます。その他、いろいろな先生の礼拝説教が録音されています。改革派福音教会の元牧師榊原康夫先生の説教テープはとて多くの方から喜ばれています。入院先の病院で、パソコンでCD図書として聞いておられる方もあります。

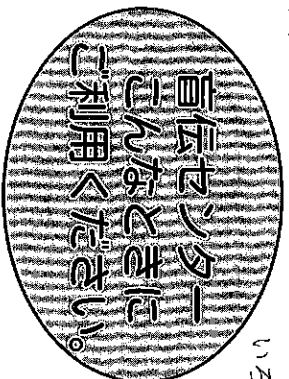
*視力障害者でなくても、法令で活字が読めない方もCDやテープをご利用できるようになりました。ただし、郵送料はご負担いただきます。

目の見えない方がはじめて教会に来られましたか…！

先日、目のご不自由な方が、当教会の礼拝に出席されました。どう対応したらいいのでしょうか？



あなたの教会には、点字聖書や賛美歌が揃っていますか？盲伝センターには、点字・録音・CDの聖書が揃っています。共同訳や口語訳など種類もいろいろ揃えてあります。また点字聖書は、日本聖書協会から安価で購入することができます。また、信仰の学びに必要な教理問答書や入門書も揃っています。求道者の学びにも、どうぞご利用ください。



キリスト教関係の論文を書いていますか！

私は視力に障害を持つ大学生です。キリスト教関係の論文を書いているのですが資料が少ないので。必要な図書を点訳・音訳していただけますか？



できる限り対応しています。プライベートサービスタと違って、個人のために、できるだけ早く点訳・音訳しています。古書を口語のテキストデータに置き換えたり、手打ちの点字書をテープ図書にしたり、可能な限りお手伝いします。どうぞ、困った時には、遠慮なくご相談ください。

新職員のご紹介

新貝香織（しんかい かおり）さん



主の御名を賛美いたします。はじめまして、新貝香織と申します。

9月からセンターで働かせて頂いています。2年前の9月に、「キリスト者として何かできれば」と祈りました。インターネットで一番上に出てきたのが盲伝センターの電話番号でした。それから、『ぼぼ』や『月刊誌ちから』などの音訳をさせていただくようになり、主の導きによって、今こうして働かせていただくようになりました。本当に未熟な私ですが、日々努力いたします！心を込めて良書をたくさんの方々に読んでいただけるように頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします

TATARA TOMOHIKO

多々良 友彦さん

静岡市出身（静岡光の家理事長）

恵みの光に生かされて

キーボード鳴らし鉄道唱歌もて

聖書全巻の名を歌えけり

われ老いて忘れがちゆエヌタイ伝

イエスの系図口ずさみおり

（入選短歌）

昭和42年の春、富士市の高校生が視力減退で就職不可のため自殺されたニュースを聞き、翌年、隣の町内に民家を得て盲人福祉施設を開所しました。疲勞で倒れたりしましたが、屈せず各種活動を行いました。46年にはベーチェット病、スモン症の各県友の会を結成、同時期にペテル聖研学習で信徒教師に選ばれ国際大会の折、ソーガム博士から温かい握手を頂いたりしました。地域の子等へのサーピス「こひつじ文庫」を開設、多くの利用者があり盛会でした。また、渡辺牧師を長に願い、福祉の町づくり運動を展開、静岡に初めて点字フロックを設置、公共バスの手帳サーピスを実現できました。

そのうち古い民家施設を老朽化で解体、元利1億

詩編90編10節に「人生の年月は70年程のものです。

健やかな人が80年を数えても得るものは労苦と災いにすぎません」とあります。私は今81歳、けれども恵みの光を意識しています。というのは17歳で失明し、我が身の不幸を嘆きながらも、鍼灸マッサージ師の資格を得られたこと。苦悩をしながら昭和29年10月24日、23歳で受洗したこと。またヘレン・ケラー女史の来日後、盲人福祉運動が展開され、私もそうした仲間入りをしたことを感謝にかえて生かされています。



点字聖書を開いて、大好きな聖句を読む多々良さん

円で「借金コンクリート」の建築物を造り、重度障害者生活訓練ホーム運営を開始しました。所属する、其の枝教会では新築財務委員長等を担当、また今年11月2日が建設25周年の恵老クラブ223回（ふじさん）集会を喜び合うことができました。

受洗40周年の年にイスラエルへの聖地旅行を果たし、また次男の計らいで欧米の教会を訪れることができましたのも感謝です。

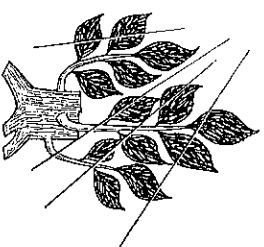
67歳のときには、長野オリンピックの聖火ランナーに選ばれて走り、30数年の修練で詩吟10段正師範の許状を頂くこともできました。

きました。

来年は光の家45年の年、『この人生に光あれ』を再刊行し、悩める方のお助けになればと考えています。小学校時代の恩師磯西先生からの70年にわたるご支援、敬友青山善治氏や各位の友愛、そして私を導いて恵みのうちに生かしてくださっている主に感謝しつつ、至らぬ綴りを終わります。 シヤローム

私は昭和34年、全国盲人青年研修大会に会友と共に参加、後にその会の福祉労働対策委員長、同39年には日盲連青年協議会会長を任命されました。話は戻りますが、昭和34年には近くの教会で結婚しました。

胸に深く残る思い出の一つは、身障者への理解と福祉向上を期し、教会の兄弟方と愛光福祉委員会を組織し、武者小路実篤先生などのご支援を得て、障害者兄弟の寄稿をまとめた単行本『この人生に光あれ』を発行したことです。これは毎日新聞全国版、NHKラジオにも取り上げられ、大変な反響がありました。昭和38年に現在の地に移りました。本当に感激でした。2男1女の子育て、さらに施療助手を置きました。

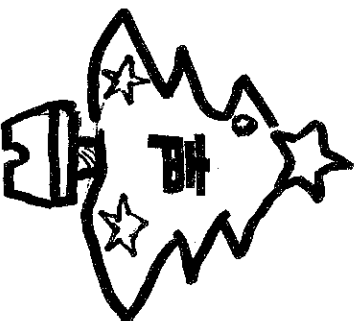


サピエの一層の充実を願います

利用者 高瀬佳輝 (徳島市)

サピエ図書館の開始で、読書環境も新時代を迎えることとなりました。以前は貸し出しの申し込みを入れてから、待たされることも多く、人気のタイトルとなれば1カ月程度かかることもありました。今では点字・録音を問わず、ネットからの受信が可能になったので、読書環境にかなりの改善があったように思います。また、返却に伴う投函の必要もなくなったので、便利になりました。

ちなみに、現在の状況ですが、少しずつですが、データも増加しています。しかしながら、キリスト教関連図書はまだ数も少ないので、申し込みによる従来の貸し出しに依存しています。まだ1年程度ではありますが、今後のサピエの機能拡充を期待したいところです。



被災地の早い復興を！

利用者 小林沙由里 (福井県坂井市)

今年の夏は例年よりも暑い夏でしたね。あまりの暑さに思わずびっくりにしてしまいました。兄弟姉妹たちの中には、夏バテになってしまったという方もいらっしゃるのではないでしょうか。私は夏生まれですが、どうも暑さに弱い体質で、すぐに食欲がなくなってしまういます。皆様はどのような乗り切っていますか。何か良い知恵がありましたらお知らせ下さい。

さて話は変わりますが、今年地震や台風の影響に加えて原発事故まで起きてしまいました。これはイエスさまが預言なさったことを超えてしまっているのでは、私も他人事ではないなあと思いました。本当に早く街が復興するように祈っています。まだまだ時間はかかると思いますが、きっと完全に復興を成し遂げることができると信じています。

音訳ボランティアの楽しみ

音訳者 永田陽子 (東村山市)

私は読書とともに朗読も好きで、これを生かして何かお役に立つならと、10年くらい前に東村山朗読研究会に入りました。朗読の基礎を学び、その後、市報や蔵書のテーマ録音、対面朗読をしてきました。始めて間もなく、キリスト教関係の本を読む機会がないことに物足りなさを感じるようになりました。そのような本を探していたところ、教会で知り合った方が、以前この音訳センターの音訳をされていたことを知り、早速紹介していただきました。

それからは本が届くのが楽しみです。次はどんな本かとわくわくします。自分のためにもなり、また聞く方が、いい本に巡り合ったと喜んでくださるなら、なんと幸せなことでしょう！ボランティアを始めて随分月日が経ちました。

最近はやいペースで、機械の取り扱いに苦労しました。いろいろありましたが、今日に至っています。市の期研と重なり忙しい時もありますが、焦らず楽しんで続けていきたいと思っています。これからもよろしくお願ひします。

編集奉仕は勉強になります

デザイナー・編集者 越智福夫

(東京都小平市)

主の御名を賛美いたします。

ちょうど私が退職の頃に、盲人伝道センターではテーマ図書のデジタル化が進められていました。東京教会や東京恩寵教会にも、静岡盲人伝道センターの職員が来られて、講習会が開かれました。私もその時、参加させていただき学びました。

私は編集の仕事をお手伝いしておりますが、いろいろな本を読ませていただきました。今年6月には、榊原康夫先生の『ルカ福音書講解』全6巻の編集を致しましたが、先生が他の福音書と比較しながら説明されている所など、私自身にとっても、大変良い勉強になったことを感謝しております。

高齢になり、いつまでご奉仕出来るか分かりませんが、神様が許して下さる限り、お手伝いさせていただきます。

編集後記

センターの働きを覚えていただき、ご支援やご協力、そして熱き祈りを感じたいです。ホ・ロゴス47号をお送りいたします。「感謝会」では主にあるお交わりの恵みをいただきました。皆様の上に主の祝福をお祈りいたします。